

タイ6期松生敏子（まついけとしこ）
国際交流基金“日本語パートナーズ”

第3回派遣報告 「七夕祭りの行事」

2018年8月

派遣校のミンブリー(バンコク、スワンナプーム空港の北)にある、サティセタブットバムペン校には、日本語選択のクラスが、高校1、2、3年に1クラスずつあります。全員で協力し七夕行事を行いました。司会の生徒は浴衣を着ました。装飾も女子校ですが大掛かりでした。タイはどの学校も、王様の写真が飾られています。



「織姫と彦星」のドラマも日本語で行いました。舞台上でカササギ（ナレーター）が劇の説明をしています。舞台左側は劇のイメージを天の川で表現しています。



タイの学校は、毎日朝礼があります。仏教の日、先生(ワンワイクルー)の日、スントンプー(タイの詩人)の日、スカウトの活動など、行事がたくさんあります。タイでは敬意、感謝や尊敬の気持ちを大切にしていると、強く感じました。

日本語パートナーズとして派遣され、活動しなければ知ることができない経験を、たくさんさせていただきました。日々、新しいことの発見があります。タイ語を勉強し、もっとたくさんの人に接していきたいと思います。